

支承防錆工の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	指示書の内容確認 安全作業指示書による 作業別安全チェックシートの活用。
支承周りに堆積した土砂等を清掃、除去する。	安全帯を必ず使用する。 土砂の落下に十分注意をする。
支承滑り面に注入ポンプを使用し潤滑剤を、注入する。	目に入らない様に保護眼鏡等の保護具を着用し 作業をする。
サンドブラストを使用し支承に発生した錆の除去をすると共に、支承の 表面を滑らかに仕上げる。またほこり対策でシート養生を行う。	ブラストマンは、完全な保護具の着用をし、作業エリア 内には、ブラストマン以外は、立入禁止にする。 ほこり対策のシートはすき間の無いように設置する。
亜鉛線を使用し支承に亜鉛溶射を行います。亜鉛は、JIS8300に規定する 等級・被膜厚さに準ずる事。	火気厳禁 目や気管に入らない様に保護具を着用し十分注意を 行うこと。
上塗り材はエポキシ系浸透性保護材を使用し、エアレススプレーガンを使 って塗装を行う。	保護具の完全着用。 塗料の飛散防止。 天候、湿度に十分注意を行う。
使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に 竹ぼうきなどで清掃する。 終礼の実施	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつりかす、研磨かすが無い様に、綺麗に清掃する。 ヒヤリハットの実施

注意事項	安全帯を必ず使用する。 作業に合った保護具を使用する。 有資格者による、機械作業を行う。 ほこり対策のシート養生は、すき間の無いように行う。
------	---